

塾の体験者が語る

住友化学システムサービス
熊田氏

(2013. 10. 16)

この塾にどんな期待をしていましたか？

現在の会社の立ち位置は、従来の情報システム子会社から、グループ会社全体の情報システム機能を担う役割にシフトしています。ICTの知識を主体とした能力に加えて、汎用的スキル(人間力)も身につける必要性を感じていました。そんな問題意識を持っていたところに、本塾の案内に出会い、試してみたいと思った次第です。

体験してみて率直な感想はいかがでした？

先生の執筆された「仕事のやり方間違っています」を教材にし、毎回2章ずつ塾生が分担し、要旨とそれに見合う身近な事例をプレゼンテーションすることが、塾の進め方でした。これは本を表面的に読んだだけではできません。久しぶりに深く考える事の重要性を思い出しました。

逆に知識を求めて安易に参加した人は不満だったかもしれませんね。

学校の先生はアカデミック過ぎて、現実的でないとと言われることが多いが？

講義は少ないのですが、自らの体験に基づき、本質をついたコメントが多いのです。表層的に聞いて「なるほど」と思っていると、それで終わりですが、後になってよく考え、自分の会社の振る舞いなどと重ね合わせると、我々自身で「気づき」ができました。宮田先生の教えで一番印象にあるのがプロセスイノベーションでなくプロダクトイノベーションが重要であると言われたことです。

ここに宮田塾の狙いと素晴らしさがありました。日本の企業でいま一番必要で、欠けているのはプロダクトイノベーションを推進できるリーダーであると。

正直宮田先生に圧倒されました。

今後も塾を続ける予定です。改善等のご希望は？

最終日に塾生全員が「塾を通じて自分がどう変わったか」というプレゼンテーションをしました。この場に、自分の上司も参列してもらい、その前で宣言することも良いかもしれません。

成長の振り返りや今後のステップアップに有効と思います。



住友化学システムサービス株式会社
IT戦略室 マネジャ 熊田竜次氏
(リーダー育成塾2013年第一期受講)

塾の体験者が語る

NTTデータウエーブ
青柳氏

(2013. 11. 28)

塾に参加した感想はいかがでしたか？

私は日経ビジネスオンラインで6年間にわたって毎週連載された宮田先生の『経営の設計学』を愛読させていただいていましたので、宮田先生から直接指導を受けられる講座に参加させて頂く機会に恵まれ、正直、とても嬉しかったです。期待どおり様々な気付きと刺激を得る事ができ、心より感謝しています。

どのような気付きが得られましたか？

いかなるテーマに対しても、宮田先生の視座の高さと取り組み方の深さが凄く、影響を受けました。日常的には仕事のプロセスのあり方に目が行きがちですが、目的は何か、狙うべき価値は何か、といった本質的なことにしっかり目を向けていくことの大切さに改めて気付かされました。

宮田先生の言葉で印象に残っているのは？

たくさんあり、一つに絞り込む事は難しいのですが、強いて一つ上げさせて頂くなら「好きな仕事をしたいとしか考えられないとしたら、永久にほんとうのプロにはなれない。好きな仕事でなく、役に立つ仕事に向かわなければならない。」という言葉。自分の仕事において、いかにして人に多くの価値を与えていくことができるか、このためには「自分がこの仕事が好きである」という感情以前に「世のため人のために役立つ」ということを優先して仕事に取り組む姿勢が必要なのだという、気付きを与えてくださる言葉といえます。

次年度の講座への期待は？

自分としては、宮田先生の引き出しからさらに多くのことを引き出したかったという想いがありましたが、時間的な制約もあったと思います。次年度は講座の設計がより厚くなると聞いていますので、一層手応えが増すのではないのでしょうか。進め方として、例えば成功ケース・失敗ケース・危機的ケース等多様な状況対応のマネジメントのあり方について、先生のご指導の下にワークショップ的取り組みをして何か成果物を産み出す試みとか、合宿形式で先生と参加者の全員が与えられたテーマにもとづく課題にじっくり腰を据え取り組む形であるとか、こういった進め方を採用することも、講座そのものの有意義な発展につながるのではないかと思います。



株式会社 NTTデータウエーブ
事務管理部 課長青柳浩一氏
(リーダー育成塾2013年第一期受講)